

サンプル文書

粗 組版太郎

1. はじめての章

明日は明日の風が吹く。

原稿とデザインにしたがって活字や図版を配置して版面を構成することを総称して組版処理と呼ぶ。

文中での数式は $E = mc^2$ 、 $F = G \frac{m_1 m_2}{r^2}$ のように、 \LaTeX と同様に書く。インラインコマンドを使うことで \LaTeX と同じように書くことができる。行別の式は

$$\int_a^b \frac{dx}{\sqrt{x^2 + 1}} = \left[\log(x + \sqrt{x^2 + 1}) \right]_a^b$$

のように書く。

箇条書きは

- こ
 - の
- よ
 - う
 - に

書く。

定理環境の例を以下に示す。

Theorem 1.0.1 *theorem*

Lemma 1.0.2 *lemma*

Definition 1.0.3 *definition*

Corollary 1.0.4 *corollary*

Example 1.0.5 *example*

¹ 脚注
脚注は*1と書く。